

05月の畑

みかん

みかんの花が終わって花びらが落下するタイミングがベストで、柑橘類を消毒する。種類も違うので多少変化するのは仕方がない。

殺菌剤、殺ダニ剤、殺虫剤の3種類を同時に実施している。



殺菌剤(ストロビーF) 2000倍から3000倍で希釈したものを使用する。新芽が発芽する時期を狙う。

殺ダニ剤(スターマイトフロアブル)ハダニ防除

殺虫剤(モスピラン)

夏野菜

5月初旬から定植を開始する。トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、オクラほぼ毎年植えている。家族消費で
きるだけ(各々2つの苗)。

スイカとかぼちゃも！

さつまいも

サツマイモの定植は5月に実施しているが5月末ぎりぎりでも構わない。遅いほうが活着が良いからである。ただ、苗が不足する傾向があるので予約できない場合は早く植えている。

2016年からイノシシが出没してきて、満足に作ることができなくなった。電気柵や金網などを用いてイノシシとの戦いのためにさつまいもを植えている。いつまでできることやら！

[2019年の被害](#)

ブドウ

ホルモン処理

ぶどうの開花状況によりジベレリン処理を実施する。

例年5月終わり頃に初回の処理をするので、開花の観察と花切も終わらせたほうが良い。ブドウ虫の被害にあっていないことも観察する(被害が大きいため！)。

消毒

うどんこ病の被害が拡大しているので、葉っぱをよく観察し、うどんこ病の兆候があれば速やかに消毒する。トリフミン水和剤を使う。

2024年5月25日 早く感染したようなのでトリフミン散布した。

その他

玉ねぎ、にんにくは中旬くらいまでに収穫しておく。

ミカンの花を確認する。この時期の花の量で豊作かどうかの判断ができる。病気や害虫の確認を含む！。カミキリムシに注意！